



もくじ - Contents -

P 2 特集1 **令和7年度町政方針**

P 8 特集2 **今冬の豪雪を振り返る**

P 10 まちの話題

西会津中・高卒業証書授与式、全国中学ビブリオバトル決勝大会
出場を報告、福島県教育・文化表彰優秀教職員表彰を受賞 など

SNSで情報発信中



Facebook



LINE

登録お願いします！



令和 7 年度町政方針

基本方針

令和7年度は、第4次西会津町総合計画の最終年度であることから、これまでに取り組んできた事業の検証と併せて、これからのまちづくりを見据えた次期総合計画の策定を進めるとともに、引き続き、現行計画に基づき、町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまち～ずーっと、西会津～」の実現に向け、「健やかな人をともに育むまちづくり」「温故創新 地産地笑のまちづくり」「いきいき健康 ころつながるまちづくり」「誰もがこちよく暮らせるまちづくり」の方向性のもと、各種事業を総合的に実施していきます。

特に、人口減少対策の三本柱として「人材育成」「移住定住の促進」「健康長寿」を事業推進の基本的な考え方に据えて取り組むとともに、デジタル戦略の着実な実行とSDGsの推進による「持続可能なまち」の実現に向け、全庁を挙げてまちづくりを進めていきます。

計画の推進に向けて

行 政運営にかかる取り組みについては、ふるさと応援寄附金事業をさらに推進していきます。「日本の田舎、西会津町。」を最大限活用した地域産品のブランド力強化並びに地域活性化起業人の活用と地域産品の開発販売戦略を推進するとともに、10箇所以上のインターネットサイトを活用した地場産品のPR、現地ツアーおよび都内PRイベントの開催などにより本町を寄付先を選んでいただける仕組みづくりを推進し、寄付額2億5000万円以上を目標に自主財源の確保と西会津ファンの獲得に努めていきます。

また、まちづくりの根幹を成す「まちづくり基本条例」に基づく町民主体の協働のまちづくりを一層推進し、「官民連携」による効率的で効果的な事業運営を進めます。

所信表明



▲ 3月7日に開会した町議会3月定例会で所信表明を行う薄友喜町長

これまで西会津町まちづくり基本条例に基づく「協働のまちづくり」の推進のもと、第4次総合計画で掲げた町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまち～ずーっと、西会津～」その実現に向けてさまざまな施策を実施してまいりました。そのいずれもが昨年迎えた町制施行70周年の軌跡、並びに80年、90年、100周年を見据えた道しるべとなっております。

次期西会津町総合計画の策定に取り組む本年は、これからの西会津町を形作る1年にしたいと考えております。

そのために西会津町の現在地を見定め、新たな事業を計画し、西会津町の魅力を全国に広めさらなる活性化を図るべく、引き続き積極的なまちづくりを推進してまいります。

「賑やかな日本の田舎、やさしいふる里西会津町」へと続く新しい道筋を開き、さらにスピードを上げて西会津町を前に押し進めるため、本年も職員と一丸となって取り組んでまいりますので、議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

子育て支援

安心して子どもを産み育てられる環境の充実と、若者世代が結婚や出産、そして子育てに期待や希望、喜びが持てるまちづくりに向けて、令和7年度から令和11年度を計画期間とする第3期子ども・子育て支援事業計画に基づき取り組みを進めていきます。

出産祝金をはじめ、保育料の無償化、乳幼児家庭子育て応援金の支給、インフルエンザ予防接種の無償化や放課後児童クラブの2人目以降の無料化を実施します。さらに、子ども1人の出生につき、10万円を支給する妊婦のための支援給付や、児童手当など、子育て世代の経済的な負担の軽減を強力に図っていきます。



▲子育てに希望を持てる町へ

健やかな人をも
とにも育む
まちづくり

こゆりこども園では、本年度より集団での保育が困難な傷病の回復期にある園児を一時的に保育する病後児保育を開始します。また、言語聴覚士を新たに配置し、乳幼児の教育・保育の充実と質の向上を図ります。

子育て支援センターでは、子育て世代の身近な相談窓口として、保健師と保育士、言語聴覚士がチームとなり未就園児を中心に定期訪問するなどアウトリーチ型の対応を強化していきます。こども園の入園児については、管理栄養士も加わり、食事・運動・睡眠などの基本的な生活習慣の定着、肥満、口腔や目の健康対策を推進し、幼児期からの

健康能力の向上を図ります。さらに、思春期における保健対策として、子どもたちが性や妊娠について正しい知識を得て、自ら努める健康管理「プレコンセプションケア」について、学校や関係機関と連携し取り組んでいきます。

教育環境

令和2年度に整備した小学校児童のタブレット端末が5年を経過することから、本年度に更新します。これらICT教育環境を最大限活用するため、学習用ソフトの充実や3Dプリンターの設置によるプログラミング教育の強化を図ります。

また、令和6年度に開設した「学びあいランド」は、教育委員会の重点事業として各ランドの推進を図り、児童生徒はもとより、地域の皆さんの学びを創出します。あわせて、地域の皆さんが学校運営に参画する「学校運営協議会・コミュニティスクール」と地域の教育力を活用した「地域学校協働本部事業」



▲学びあいランド

を両輪とした学校と地域の協働・連携を推進し、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。また、都市部の子育て世帯が、お試し移住をしながら、町の教育環境にも触れることができる「教育留学事業」を実施し、子どもも含めた関係人口の創出、さらには将来的な移住定住につなげていきます。

生涯学習

生涯を通じた人材育成のため、講座の開催や発表の機会を設け、「学びあいランド」を活用した、町民一人ひとりが主体性をもって生涯学習に取り組めるプログラムを推進するなど、学びの環境づくりを進めていきます。

スポーツ

運動の習慣化に向け、気軽に取り組めるグラウンドゴルフやボッチャなどのニュースポーツの普及を進めるほか、ふくしま駅伝や軟式野球大会などの市町村対抗競技を中心に取り組んでいきます。

歴史・文化・芸術

成果を発表できる機会を設けるとともに、デジタル博物館の製作に取り組みます。さらに、伝統芸能の継承と芸術文化活動を支援します。

農林業

担い手不足が深刻化する中、農業者の経営力を高め、農業生産を継続していくために儲かる農業の実現に向けた施策や、国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、環境に配慮した持続可能な農業の推進が求められています。「西会津町農林業振興アクションプラン」に基づき、戦略に掲げた重点事業を軸に、「米」「ミネラル野菜」「菌床キノコ」の振興を3本柱として各種事業に取り組んでいきます。

力強化事業のほか、水田土壌診断事業、西会津一うまい米コンテストの開催により、良食味の産地化・ブランド化および販路拡大につなげていきます。

◎ミネラル栽培

土壌診断システム作成のほか、単収向上のための土壌病害虫薬剤購入補助事業、ミネラル野菜の品質と価値向上に向けた糖度測定器の整備に取り組んでいきます。

◎菌床キノコ

パイプハウスの整備および貸付けにより、産地化に向けて積極的に取り組む生産者の支援を継続していきます。

◎鳥獣被害防止対策

イノシシの被害が深刻化しているため、鳥獣被害対策専門員2名体制を継続します。新たに、鳥獣被害対策地域づくり事業により自治区が主体的に取り組む地域ぐるみの鳥獣被害対策を支援し、被害防止力の強化に努め、被害の低減を図っていきます。

◎風評払拭

農業用施設機能保全計画策



定事業や、滞在就農体験事業を実施するほか、地域計画における地域農業の中心的な担い手となる集落営農組織や法人、中核農業者の支援、福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害が未だ続いていることから、引き続き風評の払拭に向けてモニタリング検査による安全・安心な農林産物のPRと販売に取り組んでいきます。

商工業

「企業支援補助金」などの補助を引き続き実施し、町内企業の支援を進めます。また、「無料職業紹介事業」による

地元企業への雇用の創出・確保や、「創業支援事業」や「空き店舗および空家利活用補助事業」などの支援を図っていきます。「事業承継協議会」と連携した施策にも取り組んでいきます。

観光・交流

「西会津なつかり」「西会津雪国まつり」など町内外から多くの来場者があるイベントの実施により、情報発信と交流人口の拡大を図ります。

また、にしあいづ観光交流協会などの関係団体や、西会津応援大使の皆さんと連携し、観光資源の環境整備を進めるとともに、温泉健康保養センターの新しい源泉の早期利用など、交流人口の拡大を図ります。さらに、台湾と町が積み重ねた文化交流を契機としたインバウンド誘致を目指し、「台湾インバウンドに向けた地域の魅力発信事業」を実施し、観光需要の創出に向けPRをしていきます。

移住・定住

移住者に寄り添った質の高い移住支援および情報発信に取り組むとともに、各大学との交流を深め、関係人口の創出と地域の活性化に資するため「西会津のある暮らし相談室」を企画情報課に移管してさらなる強化を図ります。



▲移住者交流会

後継者対策では、出会いの場の創出として、実行委員会や企業などによるイベントと、県が運営するマッチングアプリや結婚相談所の利用促進に取り組んでいきます。また、新たに結婚新生活支援事業を創設し、住宅の取得費用などの経済的負担の軽減を図ります。

誰もがここに よく暮らせる まちづくり

雪対策

町雪対策基本計画に基づき、

官民協働による克雪活動を進めていきます。

今冬は例年にない記録的な大雪となり、野沢町内では通常除雪が困難な状況となったことから、集中除排雪を実施するなど交通確保に努めました。今後も町民生活に支障を来さないよう適正な道路除雪体制の整備に努めていきます。冬期間でも安心した生活が送れるよう、日々の生活の支障となる除排雪への対策として、雪処理支援隊の充実と除排雪費用助成事業の円滑な運用を進めます。冬期間の雪



▲一斉除排雪作業（野沢）

対策に限らず、1年を通した高齢者の見守り体制の強化などについて、地域の皆さんや関係機関と連携を図りながら進めていきます。

交通体系・道路網

町民バスについては、利用者の多くを占める高齢者の利便性を高め、新たな利用に繋げるため、サロンや老人クラブを対象とした出前講座を活用し、デマンドバスのPRを行っていきます。これまでの利用状況を分析し、バス交通体系の充実に努めていきます。

道路網の整備については、安全・安心の確保と持続性のある地域づくりを支え、良質

な社会資本を将来に引き継ぐため、効果的な整備と効率的な維持管理に努めていきます。また、町道の改良事業は、地域からの要望などに基づき計画的に整備を進めていきます。老朽化している橋梁やスノーシェッドなどの修繕事業は、点検結果と長寿命化修繕計画に基づき、損傷度や路線の重要度などを勘案しながら、計画的に修繕を進めていきます。舗装についても、路線の重要度や損傷度などを勘案し、計画的に修繕を進め、農道や林道については、その開設目的に合った維持管理に努めていきます。

国・県道については、町の重要幹線として、その整備や適正な維持管理を関係機関へ要望していきます。特に、町縦貫道路の区間については、早期完成に向けた整備促進を積極的に要望していきます。また、令和4年8月の水害による通行止め経験から、災害に強い道路や、河川の整備を国、県に要望してきます。



▲町総合防災訓練

また、消防団の活動環境の見直しのほか、消防力の充実強化を図り、防災アプリや雨量観測システムなどのデジタル技術を効率的に活用し、災害に強い安全なまちづくりを進めていきます。

消防防災安全対策

消防設備について、防火水槽1基の新設、小型動力ポンプ2台の更新整備を図ります。

町デジタル戦略を推進し、デジタル技術を戦略的に有効に活用し、地域課題の解決や行政サービスの向上、移住定住の促進を図っていきます。

情報通信

自然・環境保全

地域の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、町民みんなで身近な環境に目を向け、脱炭素社会を目指す必要があることから取組みに向けたロードマップを策定し、有識者の意見を聞きながら「カーボンニュートラル」の宣言に向けた準備を進めます。

また、老朽化が進んでいる「さゆり公園」施設の計画的な整備により、利用者の利便性向上を図るほか、福島レッドホープスとの連携などによる施設の有効活用についても積極的に取り組みます。

上・下水道の整備

水道事業会計が簡易水道等事業会計に移行することなどから、令和6年度に上下水道事業の経営戦略を策定しました。中長期的な視点からさらなる効率化、健全化に取り組みとともに、老朽化や施設設備の更新を計画的に進め、持続可能な上下水道経営を目指します。

健康づくり

町民の皆さんの健康づくりのための健康コミュニケーションづくり推進事業が7年目を迎えました。鎌田實先生や奥知久先生の指導を受けながら「さすけねえ輪」の健康づくりを進めていきます。



▲鎌田實先生 健康づくり特別講演会

健康づくりの新たな体操・さすけねえ輪音頭については、イベントでの披露や公共施設の館内音楽に使用した普及とあわせて、地域に向いて実技講習を開催するなど、運動習慣の定着化を進めます。さらに、トレーニングジムについては、利用者のニーズを把握し、町民の運動習慣定着への支援として気軽に利

医療

町の国保診療所は歯科を除く町内唯一の医療機関であり、町の医療サービス全般を担っていることから、常勤医師3名による診療体制の維持・強化を図るとともに、会津医療センターや民間病院に

用しやすい環境整備に努めながら、本格運用に向けて取り組んでいきます。

高齢者福祉

「西会津町地域福祉計画・西会津町地域福祉活動計画」に基づき、元気高齢者から要介護高齢者まで全ての高齢者の皆さんが、切れ目なく介護予防や重度化防止に取り組める体制を整備していきます。医療と介護、福祉のスムーズな連携のための体制づくりをさらに進めていきます。

また、介護老人施設の整備については、「西会津町医療介護連携推進基本構想」の具現化に向けた検討チーム「田舎ケアハード会議」において、検討した結果、現在の医療と介護、福祉機能が集約された環境や福祉・介護事業の安定した経営を持続していくためには、現施設の再整備を進めることが優位であるとの結論に至ったところです。

認知症に関連する相談や要介護等認定者が増加していることから、認知症の初期対応を行い自立した生活をサポートする認知症初期集中支援チームによる支援と、本人や家族に寄り添った支援体制の強化として「チームオレンジにしあいづ」の活動推進を図っていきます。

健康 いきいき つながる まちづくり

地域での見守り体制については、高齢になっても住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるように、サロンや地域ネットワークづくりを支援し、見守り協定を締結した郵便局や宅配業者などとの連携を、強化していきます。

社会福祉

「第7期西会津計画・第3期西会津町障がい児福祉計画」に基づき、近隣市町村や関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりに取り組んでいきます。

コミュニティ

人口減少や少子高齢化が進む中、集落機能の維持、活性化に向け、集落支援員などによるサポート体制を強化します。都市部の学生や社会人が参加する人足イベントの実施により、関係人口や交流人口の拡大に取り組んでいきます。



▲奥川七観音ウォーク

今冬の豪雪を振り返る

1月8日から10日にかけて断続的に雪が降り続き、9日午前9時までの24時間降雪量が全国1位の51cmとなりました。昨年の少雪から一転して記録的な大雪となったことから、10日に豪雪対策本部を設置しました。

その後も警報を伴う大雪が続き、2月7日には観測史上3位となる172cmを記録し、62年ぶりとなる大雪による災害救助法が適用されました。町では、要援護世帯のうち放置すれば倒壊の恐れがある住家を対象に除排雪を実施したほか、対象外となった自力での除排雪が困難な高齢者世帯を福島レッドホープスの選手や町職員が訪問して、除排雪を行いました。



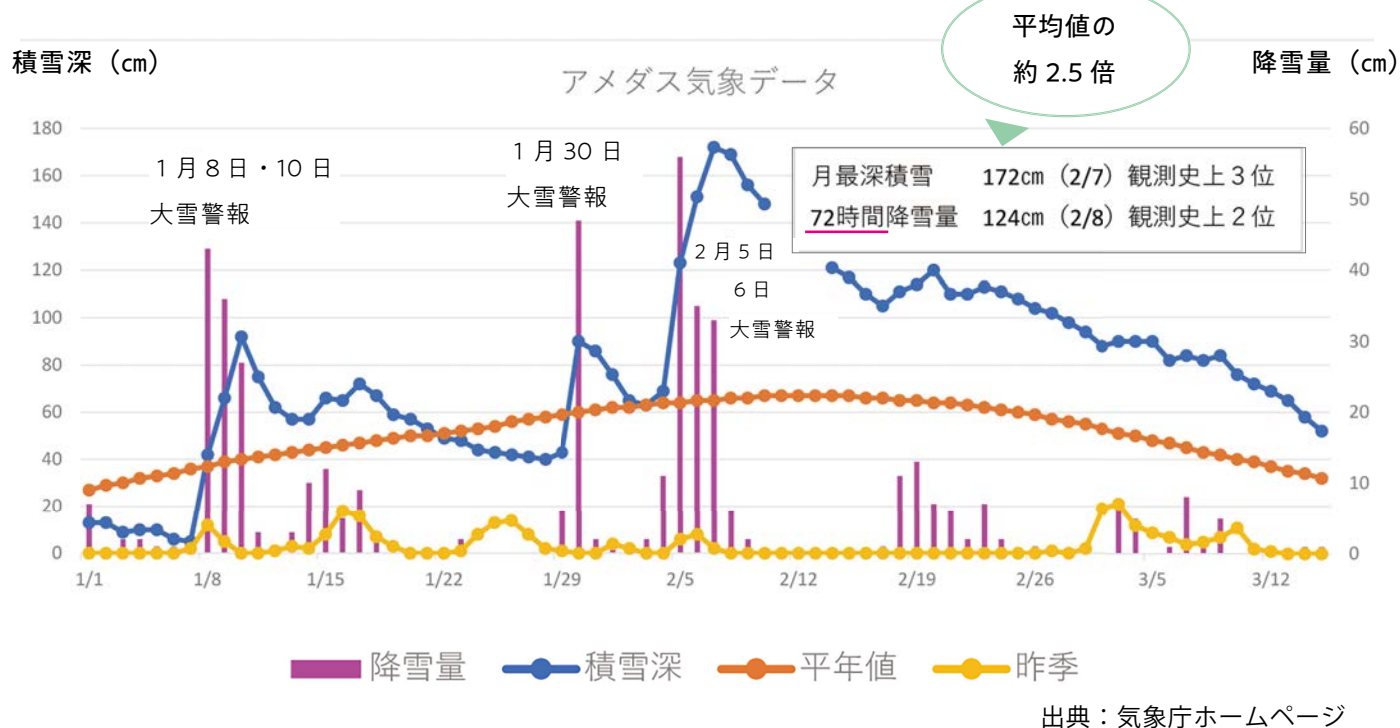
▲ 福島レッドホープスの選手の皆さんに協力いただきました

今冬を通して、屋根雪の落雪や屋根からの落下など、5件の人的被害が発生しましたが、一緒に作業していた人や近所の皆さんの協力によって大事に至らずに済んでいます。また、ガラス戸や屋根先の破損など住家の一部損壊が多数確認されていますが、全壊・半壊被害はありませんでした。

(3月15日現在)



▲ 自力での除排雪が困難な高齢者宅を町職員が訪問して除排雪を行いました



〈最大積雪深〉

1位	213cm	昭和56年2月
2位	183cm	昭和56年3月
3位	172cm	令和7年2月
4位	166cm	平成25年1月
5位	157cm	平成27年2月

〈最大72時間降雪量〉

1位	125cm	平成22年12月
2位	124cm	令和7年2月
3位	122cm	平成27年3月
4位	121cm	昭和63年1月
5位	115cm	平成13年1月

暖冬が続く「昔と比べて雪が少なくなっ
た」とよく言われるようになりましたが、
近年の雪の降り方は、短い期間に一気に降
り積もる「ドカ雪」が特徴です。
その一因に温暖化が挙げられ、風水害と
あわせて「いつか」ではなく「いつでも」
季節に関わらず私たちの生活を脅かす存在
となっています。

今冬の豪雪を教訓に、日頃から個人や地
域、団体、行政が一体となって話し合い、そ
れぞれの役割や備えを確認しておくことが
重要です。

◆り災（被災）証明書を 発行しています

り災（被災）証明書は、自
然災害により家屋や家財など
に被害があった場合、被害状
況を確認し、その内容を証明
するものです。保険金の請求
等で証明書が必要な場合は申
請してください。

【申請に必要なもの】

- ①被災状況の写真
- ②本人確認書類（マイナ
ンカード・運転免許証等）

※すでに被災した建物などを
修繕した後の申請は、被害
の程度が確認できないた
め、証明書を発行するこ
とができないことがあります
ので、ご注意ください。

【問い合わせ先】

町民税務課
町民生活係
☎45-2215

全国中学ビブリオバトル決勝大会出場を報告

3月3日、西会津中学校2年の山口紗弥さん（写真右）が町役場を訪れ、第8回全国中学ビブリオバトル決勝大会の出場を薄町長へ報告しました。

山口さんは、「本のおもしろさを皆さんに伝えられるように練習の成果を発揮したい」と意気込みを語りました。薄町長からは、「これまでの練習の成果を信じて福島県代表としての力を存分に発揮してください」と激励がありました。

3月9日に立命館大学衣笠キャンパス（京都市）で開催された決勝大会で優秀賞（4位相当）の成績を収めました。



福島県教育・文化表彰 優秀教職員表彰を受賞

2月3日、福島県教育・文化関係表彰の表彰式が福島市で行われ、西会津中学校の山口郁恵栄養教諭（写真左）が優秀教職員に選ばれました。3月3日に山口栄養教諭が町役場を訪れ、薄町長に受賞を報告しました。

山口栄養教諭は、心身の健康の保持増進と健康マネジメント能力の育成のため、給食や授業で食育を実践していることなどが評価され今回の受賞となりました。



結城ハル子さん 百歳賀寿贈呈

3月9日、結城ハル子さん（小綱木）の満100歳を祝う百歳賀寿贈呈式が行われ、薄町長と町老人クラブ連合会の二瓶穰会長より賀寿の記念品が贈られました。ハル子さんが「家族に感謝、社会に感謝、西会津町に感謝しています」と話した後、親族を代表して長男の和夫さんが謝辞を述べました。

ハル子さんの趣味は編み物で、手作りの毛糸の帽子をプレゼントすることが楽しみになっており、長生きの秘訣は好き嫌がなく何でも食べることだと話していました。



西会津高校卒業証書授与式

3月1日、西会津高校の卒業証書授与式が行われ、6人の卒業生が卒業証書を受け取りました。

式では、名嶋明宏校長が卒業生一人一人に出ヶ原和紙でできた卒業証書を手渡し、「西会津高校の新たな礎を築かれた皆さんなら次なる時代の担い手として活躍していくことでしょう。西会津高校の歴史を繋いでくれた皆さんに感謝しています。ありがとうございます」とはなむけの言葉を贈りました。

在校生代表の物江倅輝さんによる送辞のほか、式の最後には渡邊椋さんが「西会津高校で得たさまざまな絆を胸に新たな道へ進んでいきます」と答辞を述べました。



▲ 卒業生代表答辞 渡邊椋さん



▲ 在校生代表送辞 物江倅輝さん



西会津中学校卒業証書授与式

3月13日、西会津中学校の卒業証書授与式が行われ、33人の生徒が思い出のたくさんつまった学びやを旅立ちました。

式では、卒業生自身が渡した出ヶ原和紙の卒業証書を園部毅校長が一人一人に手渡しました。園部校長は「感謝、謙虚、モラルの3つを大切に周りから応援される人になってください」と式辞を述べ、卒業生の皆さんを激励しました。

在校生代表の中村莉菜子さんによる送辞の後、卒業生を代表して齋藤煌介さんが「西会津中学校での充実した時間の中で学んだ多くのことを生かし、前向きに進んでいきます。この仲間が大好きです」と答辞を述べました。

式の最後には、卒業生全員で式歌「旅立ちの日に」を合唱し、それぞれが新たな進路への一步を踏み出しました。

西中町民図書館 新刊オススメ本



『謎の香りはパン屋から』
[土屋 うさぎ 著]
宝島社



『禁忌の子』
[山口 未桜 著]
東京創元社

『親への小さな恩返し 100 リスト』

[田中 克展 著]
主婦と生活社



『冬と瓦礫』
[砂原 浩太郎 著]
集英社

『書いてはいけない』
[森永 卓郎 著]
三五館シンシャ



「焦げたクロワッサン」「夢見るフランスパン」「恋するシナモンロール」など、タイトルもおもしろいこの作品は、このミステリーがすごい！で大賞を受賞したパン屋「ノスティモ」を舞台に描かれる日常の謎解きミステリーです。

パンへの情熱がちょっと強めの店長や、お調子者だけど面倒見のいい先輩など、ノスティモで働く賑やかな人たちに囲まれて漫画家を目指すアルバイト店員・市倉小春が、持ち前の鋭い視点で謎を解いていきます。美味しそうなパンの描写が魅力的なミステリー初心者にもおすすめの連作短編集です。

町民ギャラリー 手芸友の会

今月は、山下 洋子さん（山口）の作品です。



作品介绍

「バッグ・帽子・その他のリメイク」

入会して2年、目的は捨てられずにある着物・洋服の整理でした。

出来上がった時の達成感はひときわで、試行錯誤した苦勞が吹き飛んでしまいます。プレゼントしても喜んでもらえるのでやりがいにつながっています。

皆さんとのふれあいや、脳の活性化にもなり、有意義な時間を過ごしています。「次はなにかな」と楽しみです。



第3回町長杯健康マージャン大会開催

2月22日、第3回町長杯健康マージャン大会が町公民館で開催されました。

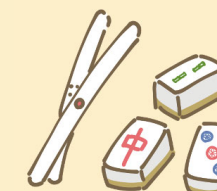
当日は、西会津健康マージャンクラブの会員など合計20人が参加し、和やかな雰囲気ながらも熱い頭脳戦が繰り広げられました。また、参加者同士の交流の輪が広がる充実した大会となりました。

男性の部
1
2
3

及川 良夫（上野尻）
山本 文夫（森野）
西名 清蔵（芝草）

女性の部
1
2

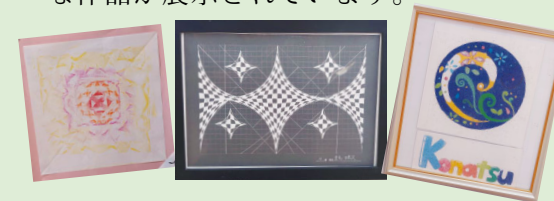
佐藤 君子（下野尻）
長澤 文子（芝草）



町民ミニミニ美術館

（町役場1階町民ホール）

西会津中学校1学年、2学年の生徒が美術の授業の時間に作り上げた彩り豊かな作品が展示されています。



展示期間 3月初旬～4月下旬



子ども英語教室閉講式

2月18日、子ども英語教室「Touch the world」の閉講式が行われました。閉講式では皆勤賞13人と努力賞16人の表彰を行い、矢部公民館長と講師のグレゴリー先生からその頑張りを褒められた子どもたちは大変誇らしげな様子でした。

閉講式終了後、最後の学習「復習カード取りゲーム」と日本のハンカチ落としのような「Duck Duck Goose（ダックダックゲース）」というゲームを行い、楽しい学習で締めくくりました。





さまざまな分野での功績をたたえ 教育顕彰表彰者の皆さんを紹介します

2月12日に予定していた表彰式は大雪の影響で中止となったため表彰された皆さんを名簿にて紹介します。

各種コンクール、競技会等で活躍した児童生徒（個人）〔敬称略〕

氏名	学校名（学年）	表彰理由
塚原 弥（さゆりが丘）	西会津小・1年	「家庭の日」作品作文部門 小学校低学年の部最優秀賞
山口 紗弥（5町内）	西会津中・2年	ビブリオバトル福島大会 中学生の部優勝（全国大会出場）
眞部 煌（芝草）	西会津中・2年	全国中学校新人競漕大会 男子シングルスカル第4位
眞部 碧葉（芝草）	西会津中・3年	全日本中学選手権大会競漕大会 女子シングルスカル第5位
伊藤 心音（芝草）	会津学鳳中・3年	東北・北海道中学生なぎなた選手権 団体第1位 演技第2位 試合個人第3位
伊藤 詩野（6町内）	会津高・3年	全国高等学校総合体育大会 ローイング競技女子シングルスカル第4位
渡部 櫻子（黒沢）	会津高・3年	日学（株）黒板アート甲子園2024 エリア賞（北海道・東北エリア）全国4位相当
清野 桜大（下小島）	会津工業高・1年	福島県高等学校新人体育大会 ボクシング競技Ⅱ部ライト級第1位
小林 芽生（9町内2）	喜多方高・3年	国民スポーツ大会東北ブロック大会 ローイング競技少年女子舵手付クォドルプル第3位
岩原 茉佑（7町内）	喜多方高・3年	国民スポーツ大会東北ブロック大会 ローイング競技少年女子舵手付クォドルプル第3位

令和6年度 耶麻地区学校教育研究作品展（共同研究の部）

受賞種別	団体名	表彰理由
準特選	西会津中学校	「自ら考える力」を身につけた生徒の育成 ～読解力（リーディングスキル）を生かした授業実践を通して～
奨励賞	西会津小学校	子どもの自己実現を目指して ～基礎的読解力を生かした授業づくり～

町の未来を描く

次期「総合計画」の策定作業がスタート

2月28日に第1回西会津町総合計画検討会議が道の駅よりつせで開かれ、本町のまちづくりの最も基本となる計画である次期「西会津町総合計画」の検討作業がスタートしました。会議では、令和8年度を初年度とした8年間の次期総合計画の基本構想と、4年間の前期基本計画の策定を目指し、これから本年12月ごろまで検討作業を重ねていきます。

総合計画とは

総合計画は、町の憲法に位置付けられる「まちづくり基本条例」で定められたまちづくりの最も基本となる計画です。まちづくりの指針となる「基本構想」、具体的な取り組みを定める「基本計画」、そして具体的な事業や実施年度、事業費などを定める「実施計画」の3つで構成しています。

総合計画は、町の将来像とそれを実現していくための取り組みが記された、いわばまちづくりの設計図のようなもので、多くの町民の皆さんの参加のもと、意見を出し合いながら、一丸となって策定作業を進めていきます。

総合計画の策定方法

25人の町民の皆さんで構成する「総合計画検討会議」と、25人の町職員で構成する「総合計画策定プロジェクト」が連携しながら策定作業を進めていきます。

これから6月ごろまで町の将来像と分野ごとの方向性を検討し、その後、分野ごとに取り組みでいくべき具体的な内容を検討することになります。

石田 美香（小綱木）	佐藤 健一（橋立）	佐藤 紗恵（上野尻）	山口 佳織（芝草）	青木 一浩（4町内）	青津 泰平（縄沢）	江川 正樹（9町内1）	大石 丈二（森野）	小柴 忍（7町内）	小柴 晴男（戸中）	鈴木 百合子（山口）	高松 梓（西林東）	津川 由紀（西原）	新田 由美子（下野尻）	二瓶 穰（上野尻）	根本 大輔（西林東）
長谷川 和宏（松尾）	長谷川 紀子（下野尻）	武藤 奈美恵（上小島）	目黒 輝夫（牛尾）	物江 義榮（下小島）	矢部 佳宏（中ノ沢）	渡部 敦子（宝川）	渡部 佳菜子（5町内）	渡部 友子（西原）							



▲委嘱状を受け取る佐藤健一委員（写真左）

総合計画検討会議委員（敬称略）



総合計画の期間

2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年
基本構想（8年間）							
前期基本計画（4年間）				後期基本計画（4年間）			
実施計画（3年間）							
		実施計画（3年間）					
			実施計画（3年間）				
				実施計画（3年間）			

実施計画は、3年間の計画を毎年見直し



22 人の子どもたちが西会津小学校に入学

ぼくたち わたしたち 新 1 年生

この春、西会津小学校に入学する 22 人の新 1 年生の皆さんを紹介します。
ご入学おめでとうございます。

(令和 7 年 3 月 14 日現在)



〈問い合わせ先〉

学校教育課 教育総務係 ☎ 4 5 — 2 2 1 6

1 町内 石川 翔くん
八島 凛桜さん
3 町内 長谷川 桃子さん
5 町内 渡部 桐生くん
8 町内 鈴木 瑞葉さん
9 町内 1 青木 萩くん
神田 滯さん
渡部 愛翔くん

芝 草 佐藤 優羽さん
田崎 未麗さん
堀 越 渡部 花乃さん
森 野 坂井 紅蘭さん
西 原 橋本 瞬くん
音田 梨乃さん
斎藤 楓さん
沼田やなぎさん

西 林 高松 笑莉さん
上 野 尻 齋藤 楓さん
武藤 遙さん
下 野 尻 石川 花さん
滑 沢 佐藤 華信くん
小 綱 木 荒海 小梅さん

春の全国火災予防週間

一般家庭防火指導・住警器設置活動を実施

3 月 2 日、西会津町消防団・西会津消防署による一般家庭防火指導が下野尻地区で行われました。地元消防団員と西会津消防署員が地区内各家庭を訪問し、住宅用火災警報器や消火器の設置状況を聞き取り、実際の設置現場を確認しながら指導を行いました。

3 月 4 日には町福祉介護課・西会津消防署による高齢者一人暮らし世帯への住宅用火災警報器の設置支援活動が行われ、町内 5 世帯を訪問して住宅用火災警報器設置が義務付けられている寝室への設置を実施しました。

今回の活動は春の全国火災予防運動にあわせて行われました。



▲ 地域住民の家庭を訪問し、聞き取りを行いました



▲ 住宅用火災警報器を設置しました



お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
4月の放送案内

◆にしあいづニュースワイド

平日・午後6時30分～ほか

◆マイビデオ募集

皆さんが撮影した映像をお
寄せください。

◆みんなの掲示板・コマー
シャル(有料) 随時受付中

〈問い合わせ先〉

(二社)西会津ケーブルネット

☎45-4461



水道メーター検針 再開のお知らせ

4月からメーター検針を再
開します。毎月20日～22日に
検針員が検針を行いますので
メーターボックス周辺の除
雪・片付けをお願いします。

◆冬期間の水道料金

9月～11月分の使用水量の
平均で納めた12月～3月分の
料金は4月の検針結果に基づ
き、過不足分を精算します。

◆次のような場合は届出を

○水道・下水道の使用を開
始、止めるとき(届出は5
営業日前まで)

○長期不在になるとき

○世帯人数に変更があるとき
(転入・転出・出生・死亡など)

○使用者(または所有者)名
義の人が亡くなった、また
は転居したとき

○水道・下水道使用料金を口
座振替にする、または振替
口座を変更するとき

〈問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係
☎45-4534

漏水などによる 水道料金の減免

水道管の凍結や老朽化など
による漏水が原因で水道使用
料金が高額になった場合、町
指定給水工事事業者による漏
水修理を行って、減免申請を
することで、水道料金の減免
措置を受けられます。

◆減免の対象となるもの

○地下漏水など(給水管破
裂、接合不良、メーター接
合不良、壁の中などの容易
に発見できない給水管破裂
など)

○不凍水抜栓の不良による漏
水(接合不良、パッキン不
良など)

○特殊器具および高架タンク
の給水設備の器具不良によ
る漏水

○凍結に伴う給水管破裂によ
る漏水(積雪のため漏水箇
所が容易に発見できない場
合に限る)

○不凍水抜栓の操作不良によ
る漏水(半開閉など)

※故意に給水装置を損傷させ
た場合や、漏水の事実を知
りながら修理を怠っていた
場合などは対象外です。

◆減免となる料金

メーター検針で分かった水
量から、前年同時期の使用水
量または前3カ月平均使用水
量のいずれか少ない方を差し
引いた水量の2分の1を免除
します。免除する期間は最高
4カ月までです。

◆減免の申請方法

減免申請書などは、町指定
給水工事事業者を通じて作成
しますので、施工業者に相談
してください。

◆町指定給水工事事業者

事業者一覧については、町
ホームページを確認するか、
町建設水道課まで問い合わせ
てください。



▲町ホームページ・
事業者一覧表

〈問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係
☎45-4534

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm

◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536



国民年金の加入について

厚生年金加入者以外で20歳以上60歳未満の人は、国民年金に加入することが法律で義務付けられています。
次に該当する人は忘れずに町役場で手続きを行ってください。

◆手続きが必要な人

○会社を退職した人

会社から資格喪失日が証明できる書類（退職証明）を発行してもらってください。

○配偶者の扶養から外れた人

会社から扶養から外れた日が証明できる書類を発行してもらってください。

○20歳になった人（誕生日の前日が取得日）

年金機構から納付書が送付されます。納付書が届かない場合は問い合わせください。

◆保険料

令和7年度の国民年金保険料は、月額1万7510円です。便利な口座振替やクレジット納付を利用ください。

家庭血圧計の購入費補助を実施しています

町では、脳血管疾患などの予防対策の一環として、家庭での血圧測定を広く普及するため「自動電子血圧計購入費補助事業」を実施しています。



補助金額は、1台あたり購入金額の3分の2以内（上限5000円）で、初めて購入する人だけでなく、すでに自動電子血圧計を持っている人で、更新のために購入する場合も対象となります。なお、申込方法などの詳細は左記まで問い合わせください。
※補助金の交付は、過去5年間に交付を受けておらず、町内取扱店から購入した場合に限りです。

〈問い合わせ先〉

健康増進課 健康支援係
☎ 45-4532

◆納付の免除・猶予

未納のまま放置すると将来、年金を受けられなくなる場合があります。納付が困難な場合は相談ください。

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係

☎ 45-2215

会津若松年金事務所

☎ 0242-275321

山菜類モニタリング検査を受付中

県内で生産または採取・出荷される野生山菜、栽培キノコなどは安全性を確認するため、モニタリング検査を実施しています。

出荷する場合は、採取が本格化する前の早い時期にモニタリング検査を実施するようにお願いします。また、検査を希望する場合は、事前に左記まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

農林振興課 林政係

☎ 45-4531



緊急通報システムで高齢者の生活を見守ります

緊急通報システムは、急に体調が悪くなった場合や火事など日常生活で困った時に緊急通報装置の非常ボタンを押すだけで、24時間365日、アイネット緊急通報センター（会津若松市）に連絡できるシステムです。

アイネットでは、通報内容に応じて、見守り協力員や緊急連絡先の家族への連絡、救急車の手配を行います。また、アイネットが依頼している地域の警備員が確認に駆けつける場合もあります。

◆対象者

おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や障がい者などで見守りが必要な人。ただし、利用の決定は次の条件を加味して町が決定します。
①介護保険法における要支援以上の高齢者
②重度心身障がいのある高齢者
③現在、保健・福祉サービス

農地バンクを介した農地の賃借へ移行しました

農業経営基盤強化促進法の改正により、4月から農地の賃借は「地域計画」に基づいた農地中間管理機構（農地バンク）を介して行われます。
◆農地バンクを介した賃借のメリット
・賃借料の精算は農地バンクが行うため、賃貸借人双方の精算事務が軽減されます。
・一定の要件を満たせば、集落で機構集積協力金の交付を受けることができます。

◎4月以降または地域計画が策定された地域は農地バンクによる農地の賃借へ移行

※このほか、農地法に基づく賃借もあります。



◆留意点

・賃貸借人の双方に手数料がかかります。（賃借料の1割で原則、最低800円、最高8000円）
・登記人が死亡していた際には相続関係説明図等が必要となる場合があります。

〈問い合わせ先〉

農林振興課 農政係

☎ 45-4531

農地中間管理機構

喜多方推進拠点

☎ 080-3754-3070

令和6年度除排雪費用助成が終了

令和6年度除排雪費用助成事業（給付券）は3月31日をもって終了しました。給付券は表示してある有効期限を過ぎた除雪作業には使用できません。未使用分は各自で破棄または処分をお願いします。なお、除雪作業の支払いを

◆利用料
月額4620円（税込）
※所得に応じて費用負担が発生します。前年が所得税非課税世帯の場合は自己負担は0円です。
◆その他注意事項
本システムに係る装置は貸与となります。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係

☎ 45-2214

給付券で受けた登録事業者の皆さんは、町への請求漏れのないよう注意し、4月中に請求してください。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係

☎ 45-2214

4月6日（日）～15日（月）春の全国交通安全運動期間！

10日（木）は交通事故死ゼロを目指す日です

- ◆運動スローガン「どんなときも わすれちゃだめだよ みぎひだり」
- ◆年間スローガン「わたります 止まるやさしさ ありがとう」

【運動の重点】

- 1 歩行者優先意識の徹底と、ながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- 2 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底
- 3 子どもをはじめとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1 枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



児童手当の多子加算に関する手続きについて

令和6年度の児童手当法の改正に伴い、高校を卒業した後も22歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある子（大学生年代までの子）については、第3子以降加算（多子加算）の算定対象となりました。

高校などを卒業した後も継続して子を監護相当および生計費の負担をし、受給者に経済的負担がある場合は、**受給者からの申請が必要です。**



対象者

1. 子が3人以上おり、高校を卒業する（18歳年度末を迎える）子がいる
2. 子が3人以上おり、高専、短大、専門学校等の卒業予定年月が22歳年度末前に到来する子がいる（令和7年3月卒業予定の子）
3. 子が3人以上おり、新たに養育することとなる子がいる

※1および2に該当する受給者には、**3月中旬に通知を送付しています。**

申請方法

令和7年度に新たに大学生年代になる子がいる場合は、受給要件の確認が必要となります。

該当する大学生年代の子を監護し生計費を負担している人は、通知書に同封した「**監護相当・生計費の負担についての確認書**」を提出してください。

新たに大学生年代の子を養育し、多子加算の算定対象となる場合は、子育て支援センターまで問い合わせください。

申請期限および申請先

4月16日（水）

福祉介護課 子育て支援係（子育て支援センター）

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 子育て支援係

☎ 45-4332

人間ドック助成事業申込のお知らせ

町では健康増進および健康寿命の延伸を図るため、人間ドックを受診する人へ助成金を交付します。



1. 対象者

- ① 町に住所のある町民のうち40歳以上の人（昭和61年3月31日以前生まれの人）
- ② 令和5年度及び令和6年度において本事業の助成を受けていない人

2. 申込方法

町指定の交付申請書（申込書）を記入し、申込受付期間内に町役場健康増進課に提出してください。
※交付申請書は町ホームページからダウンロードするか、健康増進課で直接お受け取り下さい。

3. 申込受付期間

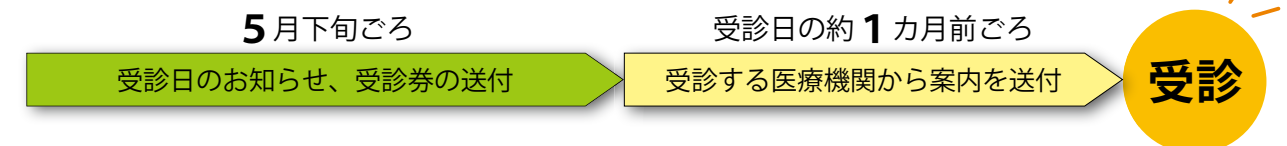
4月14日（月）から4月25日（金）まで（平日 午前8時30分～午後5時15分まで）

【申込にあたっての注意事項】

※ご自身で直接、医療機関へ人間ドックの申し込みをした場合は助成の対象になりません。

※申し込みが定員を超えた場合は抽選を行います。抽選の結果人間ドックを受診できなかった場合は町の集団健診を受診してください。なお、人間ドックを受診した場合は、町の集団健診（特定健診・健康診査、がん検診）は受けられません。

4. 申込後の流れ



5. 助成額及び自己負担額について（※助成金は町から医療機関へ直接支払います）

受診（助成）回数	助成金額	自己負担額
1回	上限30,000円まで	受診金額から助成金額を除いた金額が自己負担額です。 人間ドック受診時に医療機関へお支払いください。

6. 受診できる医療機関および主な検査項目（共通項目）

特定健診の項目（内科健診、身体計測、血液検査、尿・血圧など）

がん検診の項目（胃カメラまたはバリウム、胸部X線、検便など）

医療機関名	受診期間	参考金額（税込）	受診枠
会津中央病院	7月～9月まで	40,700円	25人程度
竹田総合病院	7月～12月まで	45,980円	15人程度
坂下厚生総合病院	6月～11月まで	39,600円 ※組合価格あり	14人程度
佐原病院	7月～12月まで	29,000円	16人程度

※共通項目以外のオプション検査を受診する場合は別途追加で料金が発生します。

詳しくは、申請の際に健康増進課窓口で確認してください。

※参考金額は令和6年度の実績ですので、変更になることがあります。

◆詳細は別途配付のチラシで
確認ください

〈問い合わせ先〉 健康増進課 健康支援係 ☎ 45-4532



■ 税務署からのお知らせ ■

1. 令和6年分所得税等の口座振替日について

- ・ 申告所得税及び復興特別所得税 **4 月 23 日**（水）
- ・ 消費税及び地方消費税（個人事業者） **4 月 30 日**（水）



※振替納税を利用している人は、振替日の前日までに預貯金口座の残高を確認ください。

残高不足などで引き落としできない場合は、納期限の翌日から納付日まで延滞税がかかる場合があります。

〈問い合わせ先〉

喜多方税務署

☎ 0 2 4 1 - 2 4 - 5 0 5 0 （音声案内に従い「2番」を押してください）

不動産を相続したら かならず相続登記！ 令和6年4月1日から義務化されました

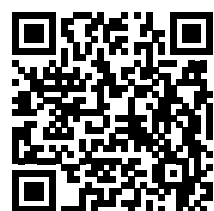


Point i
相続したことを知った日から
3年以内に登記！

※正当な理由なく義務に違反した場合、
10万円以下の過料が科される可能性があります。

Point i
義務化前の相続も対象！

※義務化前に相続したことを知った不動産は、
令和9年3月末までに登記する必要があります。



法務省民事局
MINISTRY OF JUSTICE CIVIL AFFAIRS BUREAU

法務省ホームページ 相続登記▶

“西会津町生活支援商品券” を配付します

西会津町生活支援商品券（見本）



▲オレンジが地元店舗専用券。4,000円分を配付



▲緑色が共通券。2,000円分を配付

町では、エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けている生活者の消費を下支えするとともに町内経済の活性化を図るため、町民一人当たり 6,000 円の「西会津町生活支援商品券」を配付します。

◆商品券について

世帯主宛てに世帯人数分の商品券を送付します。

◆基準日

令和7年2月1日に西会津町に住民票がある人が対象です。2月2日以降に転入、出生した人は対象になりませんので注意してください。

◆配付時期

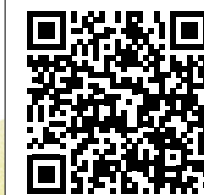
ゆうパックで3月中旬から配付するため、地区や家庭により配付時期が異なります。「近所が届いているのに、まだ自分には届いていない」ということもありますので、あらかじめご了承ください。

◆利用期限について

令和7年6月30日（月）まで

◆利用できる事業所について

- 同封している「西会津町生活支援商品券・取扱店一覧」に記載のある事業所などで利用できます。詳細は、町ホームページでも確認できます。
- 利用できる事業所などには「西会津町生活支援商品券取扱店」の表示がありますので、利用時に確認してください。
- 今後、事業所情報に変更される場合は随時町ホームページでお知らせします。
- 商品券の取り扱いを希望する事業者は、西会津町商工会に問い合わせください。



◀ 町ホームページ・
取扱店一覧

〈問い合わせ先〉

◎商品券の取扱全般、取扱事業者について

町商工会 ☎ 4 5 - 3 2 3 5

◎商品券事業全般、配達関係について

商工観光課 商工観光係 ☎ 4 5 - 2 2 1 3

4月の休日当番医

日	医療機関名	電話番号	市町村
6日(日)	こしいクリニック	0242 (33) 6100	会津若松
	小野木クリニック	// (26) 5533	
	小野病院	0241 (22) 0414	喜多方
	渡辺医院	0242 (83) 3125	会津坂下
13日(日)	そね内科クリニック	// (33) 1024	会津若松
	あいづ整形外科リハビリテーションクリニック	// (28) 1205	
	医療生協 きたかた診療所	0241 (23) 3611	喜多方
20日(日)	いとう内科消化器科クリニック	0242 (38) 3733	会津若松
	なるせとみこレディースクリニック	// (37) 7851	
	喜多方市地域・家庭医療センター	0241 (24) 5320	喜多方
27日(日)	やまみこどもクリニック	0242 (23) 4115	会津若松
	耳鼻咽喉科鈴木医院	// (28) 3387	
	くまたクリニック	0241 (28) 1233	喜多方
	平野医院	0242 (83) 2243	会津坂下
29日(火) 昭和の日	徒之町クリニック	// (26) 6181	会津若松
	かべや耳鼻咽喉科	// (24) 4133	
	高橋小児クリニック	0241 (25) 7066	喜多方
	荒井医院	0242 (83) 2224	会津坂下

4月の休日歯科医

日	医療機関名	電話番号	市町村
6日(日)	山田歯科矯正歯科	0242 (36) 7770	会津若松
13日(日)	おぐみ歯科こども歯科	// (37) 0418	
20日(日)	渡辺ゆうぞう歯科クリニック	// (37) 2232	
27日(日)	いしかわ歯科医院	// (75) 5550	
29日(火)	中央歯科	// (27) 3065	



【注意】休日当番医・歯科医は変更になる場合があります。
ご確認の上ご利用ください。

4月診療所の土曜・ 整形外科診療日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

○ 土曜診療日 (第1・3土曜)

※整形外科診療日は発行時点で決まっていないため下記まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

西会津診療所 ☎ 45-4228

納税・公共料金

◆水道料金・下水道料金
◆ケーブルテレビ使用料
◆インターネット使用料
納期限 4月10日(木)

◆軽自動車種別割
納期限 4月30日(水)

心配ごと相談日

◆日時

4月7日(月)、28日(月)
各日午前9時～正午

◆場所

老人憩の家

〈問い合わせ先〉

町社会福祉協議会

☎ 45-4259

腎臓ってなにをするの？ あなたの腎臓を元気に保つ生活について

1 【減塩を意識しましょう】

血圧が高いと腎臓には大きな負担がかかります。まずは、塩分摂取量を少なくすることから始めてみましょう。1日の塩分摂取量の目標値は、成人男性で7.5g未満、成人女性で6.5g未満、高血圧の方は6g未満が望ましいとされています。買い物の際は食品の成分表示を注意して見る習慣をつけましょう。

2 【高血圧・高血糖に注意しましょう】

血圧や血糖値が高くならないようにコントロールすることも大切です。腎臓は細かい血管の集合体になっているため、高血圧や高血糖による影響を受けやすいです。重要なのは食事と運動です。適度な運動、減塩・適塩を意識することで、血圧や血糖値をコントロールしましょう。

3 【タバコはすぐにやめましょう】

1番大切なことは禁煙することです。喫煙は全身の血管を狭め、血液が流れにくくなり体中に悪影響を与えます。腎臓の血管もタバコの影響によって狭くなり、十分な血液が行き渡らず、体内の不要物を排出できなくなります。タバコをやめることで、腎臓の働きが低下する可能性を減らし、腎臓を元気に保つことにつながります。

- 運動や体操をしています。
白湯を飲み、とにかく動くようにしています。
- ラジオ体操を毎日やるようにしています。
- ケーブルテレビで毎日10時からやっている体操をやっています。
- さすけねえ輪音頭を始めました。
- 減塩に取り組んでいます。
(納豆のたれを半分に使うなど)

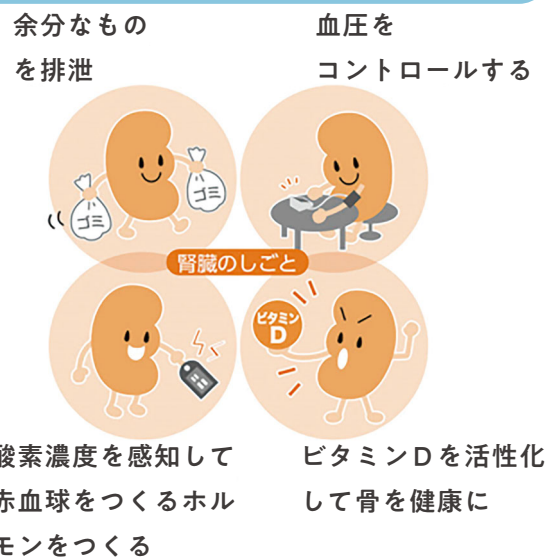
〈健康のためにやっていることは？〉

私たちのからだの中にはたくさんの臓器があり、さまざまな働きをしています。中でも「腎臓」は生きていくうえで大事な役割を果たしています。

腎臓はからだの背中側、腰のあたりに左右1個ずつあります。大きさは握りこぶし程度でそら豆のような形をしています。

腎臓が適切に働けなくなると全身に影響が出て、放置し続けると命にかかわります。では、大事な腎臓を守るために何をすれば良いと思いますか？

図 腎臓のしごと



出典：患者さんとご家族のための
CKD 療養ガイド 2024



健康増進課 健康支援係
平野 保健師

腎臓は症状が出てからでは回復が難しい臓器の1つです。腎臓をいたわる生活を心がけて実行することで、日々の生活や未来を楽しく豊かにする「さすけねえ輪」につなげていきましょう。



2月28日、公民館で実施したさすけねえ輪健康教室～血圧を考えよう 食生活編～に参加した皆さん

今月のさすけねえ輪
実践者

戸籍の窓口 (2月受付分)

■ まちの人口

	3月1日現在	(前月比)
人 口	5, 3 7 6 人	(-12人)
男	2, 6 2 3 人	(-6人)
女	2, 7 5 3 人	(-6人)
世 帯	2, 4 4 8 世帯	(-8世帯)

■ お誕生おめでとう

長谷川 ^{つきは}月映ちゃん 哲也・麻依 松尾

■ お悔やみ申し上げます

橋谷田ミユキ (95)	辰郎	母	4町内
新城 すみ子 (90)	榮光	母	8町内
丹藤 ヤイ (85)	浩正	母	8町内
渡邊 あきえ (55)	和幸	妻	9町内2
神田 功 (76)	教徳	父	芝草
紫藤 眞理子 (61)	隆彦	妻	下野尻
伊藤 幸男 (91)	幸治	父	呼賀
薄 藤一 (98)	三恵子	父	平明
遠藤 節子 (88)	剛一	母	高目
津川 久美子 (67)	幸一	母	杉山

Dream

聞いて！わたしの夢



[西会津中 3年・サッカー部 部長]

いとう かずと
伊藤 和斗 さん

◆私の夢——

僕が将来なりたいなと思っている職業は、農家です。父が農家で夏場、部活や試合がない時によく手伝っています。機械に乗って汗をかきながら働いている父を見てカッコいいなと思って農家を選びました。農家をやることは簡単ではないけど農家を目指して勉強を頑張っていきたいです。

◆努力していること——

努力していることは、勉強です。「農家は数学ができないとだめだぞ」と父から言われたので数学を頑張っています。

心がけていることは、できるだけ父の手伝いをして仕事を覚えることです。

◆未来の自分に一言——

ちゃんと仕事をして、いい家庭を築いてください。

Person

町民バトンタッチ

やまうち こうた
山内 耕太 さん [2町内]

◆趣味

ものづくり

◆特技

よく食べる

◆熱中していることは？

ラーメン屋巡り

◆自分を一言で表現すると？

多趣味

◆あなたのモットーは？

始まれば終わる

◆最近感動したことは？

きれいな飯豊山を見たこと

◆これからやってみたいことは？

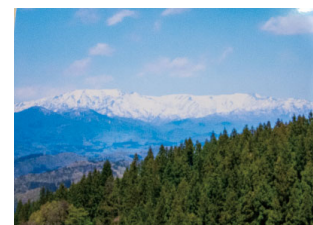
刺し子

◆次の方を紹介してください

S・Tさん

とっておきの物は？

飯豊山の写真。初めて天空の郷に行った時に撮った写真です。



みんなのひろば



武藤 ミユキさん (3月号)
からメッセージ

これからもよろしく
お願いします。



Column

協力隊リレーコラム

活動2年目に向けて

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊ボランティア支援部門担当の遠藤海渡です。西会津に住み始めてから、もう1年経ってしまいました。月日が経つのがとても早く感じています。初めての西会津の冬を越え、暖かい日が増えてきたことがとても嬉しいです。

昨年度は、町内のボランティア団体の会議や活動に参加させていただいたり、町民の皆さんに聞き取りをしたりして、西会津町の現状を知ることができたと思います。

今年度は、昨年度に得た情報や皆さんとのつながりを活かし、西会津町を盛り上げていけるように全力で頑張っていきます。昨年度に引き続き、さまざまな場面でお世話になるとは思います。今年度もよろしくお祈りします。

僕のことを見かけた際には、遠慮なく声をかけてください！



えんどう かいと
遠藤 海渡 隊員

埼玉県新座市出身、前居住地は福島市。ボランティア支援担当として、令和6年4月に着任。昨年度は市町村野球・ソフトボール、ふくしま駅伝に参加。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その93

文：長谷沼 清吉

「^{じかたごけにん}地方御家人」と「^{じっこくつくりじかたもの}拾石作地方の者」考

- ・拾石作地方の者という武士がいた。これは農村に田地を給され住みついた藩士。
- ・拾石作地方の者とは幕末に金銭の上納などによって名字帯刀を許された者で、地方御家人と区別するために呼ばれた。

と、『西会津町史』にはあります。「地方御家人」とは、地方に住む御家人(藩士)のことで、年貢は納めていません。地方の者の「者」は士ではなく人、平民だからです。

藩では財政が逼迫すると、いろんな名目で多額のお金を上納させ、少額の賞格出金をさせました。天明飢饉(1782～1788 ごろ)の後には新町村の肝煎が355両余、沼平村(喜多方市山都町)の肝煎が100両を上納し、山三郷代官の上申をもって地方御家人を願い出ましたが、認められませんでした。

安政6年(1859)、野沢組6人、木曾組8人の肝煎が「拾石作地方の者の形の者」ということで現れます。その後慶応4年(1868)には、同じ人達が「拾石作地方の者」として現れています。「形の者」からさらに出金したので「地方の者」に昇格したとみられます。

それでは、地方御家人は何人いたのでしょうか。慶応年間(1865～1868)の御家人名簿が3冊あり、その本が手元にあります。それぞれ146人、146人、164人の人名が書かれており、全員合致しないので164人より増えると思われます。

地方御家人は戊辰戦争で正奇隊を編成し、新政府軍と戦っています。北方方部の人は相馬直登隊で白河口、坂部三十郎隊は三森峠(郡山市)、もう一隊は名称不明で赤谷口(新潟県新発田市)で戦ったとあります。そのほか藩士の諸隊に参加した人も多数おり、親子兄弟で参加した人もいたので、戦った人は200人を超えと考えられます。

大谷組・吉田組の肝煎は、地方の者と書かれているのは確認できていません。

野沢市場商人組頭の豪商小島二家には、「拾石作地方の形」と刻んだ墓石があります。一家は100両を上納しているが「形」のままです。肝煎ではないからでしょうか？

(参考文献)

『西会津町史』、『山都町史』、『歴史春秋 45号・83号』、『会津藩士人名録』

今月の表紙

今月は、3月1日に行われた西会津高校の卒業証書授与式から。高校生活最後のホームルームを撮影させていただきました。6人の卒業生と先生方の絆に、見ているこちらにも込み上げるものがありました。広報担当になり2年が経過しましたが、町内各学校の卒業式では、毎回涙をこらえるのに必死になりながら写真を撮影しています。

(10ページに関連記事)

